

御池通沿道のマップづくりワークショップ・ニュース (NO.1)

平成17年1月6日発行

発行：京都市都市計画局都市企画部都市づくり推進課

問合せ先：都市づくり推進課 (TEL075-222-3503/FAX075-222-3472)

平成16年12月3日(金)、元龍池小学校1階会議室において御池通沿道の魅力を発掘しマップにまとめようと「御池通沿道のマップづくりワークショップ」を開催しました。

当日は地元の方々を始め、約40名の方にご参加いただき、グループごとに「なぜマップをつくるのか」「誰にとっての魅力？」など、活発な意見交換が行われました。

第1回ワークショップの最後には、御池沿道関係者協議会の座長でもある宗田好史先生(京都府立大学助教授)から、「みなさんの発表で身近な歴史や思い出がずいぶん話されました。こういう身近な歴史や誇りをマップに落とし込んで、地域の人に伝えるという作業をしていきましょう」とコメントをいただきました。

次回は、何をどのように伝えるかを考えたいと思います。皆様のご参加をお待ちしています。

◆次回は… 第2回「御池通沿道のマップづくりワークショップ」

日時：平成17年1月25日(火) 19時～21時／場所：元龍池小学校1階会議室
(中京区両替町通御池上る)



Aグループ

- なぜマップが必要なのかということから話し合った。
- 現在の御池通は課題が山積している。通りをよくするためのマップになるようにしてはどうか。
- 地域の想いや昔の記憶などを伝えるマップをつくってはどうか。

Bグループ

- 地域の小学校は大切な存在である。
- 地域には屋敷跡など歴史的なものが多い。
- 通り名や町名の由来などを伝えることも大切である。
- 全国の人に発信して、「世界一」だといえるようにしたい。
- 歩いて魅力が発見できる通り・界隈にしたい。

Cグループ

- 御池通の過去の歴史やつらい思い出など、深い思いをきくことができた。
- 御池通での生活習慣や思い出が伝わるものにしてはどうか。
- 「住める」という観点が大切である。
- 地域の人を知りたいことは観光客も知りたいのでは？
- エリア的にもっと広げてはどうか。



Dグループ

- 課題を整理することから始めた。
- 通りの南北で分断されている、また、通りの東西で人の流れが違うという現状がある。
- 御池通の歴史的資源としては、建物、名水、キリシタン燈ろうなどがある。
- 御池通のケヤキがもっと育って欲しい。

Eグループ

- 御池通がウィンドウショッピングなどしながら歩いて散策できるようになればよい。
- マップのテーマは住民や観光客にとっても魅力的な内容がよい。
- 御池通を歩行者天国にしてフリーマーケットなどのイベントをするとうい。